

# 草津市立クリーンセンター更新整備工事

## 落札候補者選定結果および審査講評

平成 27 年 1 月

草津市立クリーンセンター更新整備総合評価技術審査会

草津市では、既存のごみ焼却施設が老朽化したため、平成 29 年度中の稼働を目標に、ごみ焼却施設等の更新整備工事が計画され、工事事業者の選定方法については、価格と品質を総合的に評価する総合評価一般競争入札を採用することが決定された。また、落札者選定に際して公平性、公正性および競争性を確保するために、募集要項、選定基準、技術提案書等にかかる審査および評価を行うため、草津市立クリーンセンター更新整備総合評価技術審査会（以下「技術審査会」という。）が設置された。

技術審査会では、平成 26 年 3 月 24 日に第 1 回を開催して以降、計 6 回の技術審査会を開催し、工事事業者の選定に関し必要な審査等を進めてきた。

平成 26 年 7 月 18 日付けの入札公告に対し 2 者から応募があり、提出された技術提案書類は、いずれも草津市が求める要求水準を満たし、最新技術に基づく高度なものであり、かつ、創意工夫に富んだ優れたものであった。特に発電や長寿命化の実現にかかる提案については非常に優れたものであり、総合評価一般競争入札を採用した当初の目的どおり、草津市が求める「安全で安定した施設」「経済性・効率性を考慮した施設」「環境に配慮した施設」を十分に具現化できるものであり、両者の熱意には、深く感謝の意を表するものである。

この度、技術審査会において、この両者の技術提案内容の詳細に至るまで精査し、公平な技術評価を行い、価格面と併せての総合評価を行い、落札候補者を選定したので、ここに審査講評として取りまとめ報告する。

平成 27 年 1 月 27 日

草津市立クリーンセンター更新整備総合評価技術審査会

委員長	吉原 福全
副委員長	金谷 健
委員	占部 武生
委員	向井 明

## 目 次

I. 工事内容等	1
1. 工事名	
2. 対象となる本施設等の種類	
3. 本施設の管理者	
4. 工事の目的	
5. 本施設の基本方針	
6. 事業方式	
7. 関係法令等の遵守	
8. 工事スケジュール（予定）	
9. 工事業者が実施する設計・施工業務の範囲	
10. 草津市による工事の実施状況の監理	
11. 地元雇用や地元企業の活用	
II. 審査方法等	3
1. 選定方法	
2. 入札参加資格の審査	
3. 技術提案の審査	
4. 価格審査	
5. 総合評価	
6. 落札候補者の選定	
7. 落札候補者の選定経過	
III. 審査結果	6
1. 入札参加資格の審査	
2. 対面的対話	
3. 基礎審査	
4. 技術提案に係るヒアリング	
5. 技術提案の審査	
6. 価格審査	
7. 総合評価及び落札候補者の選定	
IV. 審査講評	9

## I. 工事内容等

### 1. 工事名

草津市立クリーンセンター更新整備工事

### 2. 対象となる本施設等の種類

施設の種類	一般廃棄物処理施設
建設地	草津市馬場町 1200 番地 25
施設概要	熱回収施設においては、処理対象物を受け入れ、処理を行い、処理過程で発生する熱エネルギーの有効活用を図る施設。リサイクル施設においては、処理対象物を受け入れ、処理を行い、再生利用に資する施設であるとともに、啓発・環境学習拠点とする施設。
施設規模等	熱回収施設 127t/24h (63.5t/24h×2 炉) リサイクル施設 13.6t/日
処理方式	熱回収施設 全連続燃焼式ストーカ方式

### 3. 本施設の管理者

草津市長 橋川 渉

### 4. 工事の目的

草津市では、平成 22 年度に策定した「草津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づき、一般廃棄物の減量化・資源化を推進し、二酸化炭素排出量の削減など、環境負荷の低減に努めており、今回の施設整備にあたっては、熱エネルギーの回収など効率的な処理事業に取り組むことで、循環型社会に寄与する施設を目指す。

また、最新のごみ処理技術による設備を導入し、安全かつ安定した施設整備に加え、発電などの余熱の有効利用を図るエネルギー回収施設として整備を進めることを目的とする。

### 5. 本施設の基本方針

本施設の整備については、以下に示す基本方針を基に進めることとする。

#### ・安全で安定した施設

施設での処理が安全に行われ、市民および施設職員が安心できる施設を整備し、維持管理が容易で耐久性に優れた設備を導入し安定した施設を目指す。

#### ・経済性・効率性を考慮した施設

建設費および維持管理費などの運営費を含めたごみ処理コストの低減化や、効率的な資源化、およびエネルギーの有効利用を図る施設を目指す。

#### ・環境に配慮した施設

環境汚染物質の発生を抑制し、環境負荷の低減を図り、余熱エネルギーの有効利用により循環型社会へ貢献できる施設を目指す。

## 6. 事業方式

本施設は、公設公営方式とする。なお、施設の運転・維持管理については、外部委託を想定している。

工事業者が行なう範囲は、本施設の設計・施工業務を行う。

工事期間は、次のとおりとする。

- ・設計・施工期間：契約締結日から平成30年3月15日まで

## 7. 関係法令等の遵守

工事業者は、本工事を行うに当たって、必要とされる関係法令等を遵守する。

## 8. 工事スケジュール（予定）

本工事に関する主要なスケジュールは、以下を予定している。

- |               |         |
|---------------|---------|
| (1) 議会議決      | 平成27年3月 |
| (2) 工事契約の締結   | 平成27年3月 |
| (3) 設計・施工業務着手 | 契約日     |
| (4) 本施設の引渡し   | 平成30年3月 |

## 9. 工事業者が実施する設計・施工業務の範囲

設計・施工業務は以下のとおりとする。

### (1) 設計業務

本施設のプラント設備工事、建築工事、建築設備工事及びその他関連工事の設計を行う。

民間事業者は、自らの判断により必要に応じて地質調査等の追加調査を行う。

### (2) 施工業務

本施設のプラント設備工事、建築工事、建築設備工事及びその他関連工事を行う。また、試運転及び引渡性能試験を行い、本施設を草津市に引き渡す。

## 10. 草津市による工事の実施状況の監理

草津市は、発注仕様書、技術提案書類等に基づいた工事の実施状況等について、監理を行う。

また、草津市へ提出する調査分析結果及び各種報告書作成は、工事業者自らの費用で行うが、草津市が直接実施する調査等については、草津市の負担とする。

草津市は、主に以下の内容について監理を行い、必要に応じて修正や作業の指示を行う。工事業者は、合理的な理由がない限り、その指示に従うこと。

- (1) 設計・施工業務に係る各種図書の確認
- (2) 施工の進捗に併せた状況確認
- (3) 引渡性能試験の立会い

## 11. 地元雇用や地元企業の活用

工事業者は、本工事の実施にあたって、可能な限り地元雇用や地元企業の活用に努めるとともに、地元住民への配慮にも努めること。

## II. 審査方法等

### 1. 選定方法

本工事の落札候補者の選定については、上記 I. 5 の「本施設の基本方針」の実現を目指し、民間企業から技術提案を求め、その内容を価格と合わせて総合的に評価する総合評価一般競争入札によるものとし、選定における客観性、透明性、公平性および競争性の確保を目的に、次に示す学識経験者 4 名で構成する審査会において、草津市立クリーンセンター更新整備工事落札候補者選定基準書（以下「落札候補者選定基準書」という。）を作成し、その基準に従って厳正なる評価を実施した。

なお、審査会での審査、評価にあたっては、入札参加者名に換えて草津市が指定した色を記載した審査資料を用い、入札参加者が特定できないよう匿名性を確保したうえで行った。

氏名		所属等（委員委嘱時）
委員長	吉原 福全	立命館大学理工学部教授
副委員長	金谷 健	滋賀県立大学環境科学部教授
委員	占部 武生	龍谷大学理工学部教授
委員	向井 明	立命館大学客員研究員

### 2. 入札参加資格の審査

入札参加者より提出された参加資格申請書類を審査し、入札説明書に示す入札参加資格要件を満たす入札参加者について参加資格を有するものとする。

### 3. 技術提案の審査

#### (1) 事前審査

入札参加者より提出された技術提案書類を確認し、入札説明書及び発注仕様書に示す条件を満たさない入札参加者は失格とする。

#### (2) 技術提案に関するヒアリングの実施

技術審査会は、技術提案書を提出した入札参加者を対象に、技術提案に関するヒアリングを実施した後、技術提案書の審査を行う。

#### (3) 非価格要素審査における点数化方法

技術提案に関するヒアリングを実施した後、技術提案書類に記載された内容について評価を行い、非価格要素の評価の点数を決定する。

評価	説明	点数
A	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、極めて高く評価できる	配点×1.0
B	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、高く評価できる。	配点×0.75
C	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、評価できる。	配点×0.5
D	発注仕様書を満たしており、技術提案内容も、やや評価できる。	配点×0.25
E	発注仕様書を満たしているレベルである。	配点×0

#### 4. 価格審査

##### (1) 予定価格

予定価格 : 12,380,000,000 円 (税抜き)

基準額 : 予定価格×70%

##### (2) 価格審査における点数化方法

価格評価点は、入札金額(消費税及び地方消費税相当額は含まない。)に基づき、次の式により点数を算定する。なお、算定式で求める点数は四捨五入しない。

価格評価点の算定にあたっては、基準額を設ける。基準額を下回る価格での入札を行なっても失格とはならない。基準額は予定価格×70%とする。

<b>【価格評価点の算定式】</b>
①最低入札価格>基準額の場合 価格評価点=配点(50点)×最低入札価格/入札金額
②最低入札価格≤基準額の場合 価格評価点=配点(50点)×基準額/入札金額

※基準額以下の価格で入札を行なった場合は、当該入札参加者の価格評価点は満点の50点とする。この場合は、その他の入札参加者(基準額を上回る価格で入札を行なった者)の価格評価点の算定は、上記②の算定式で行なう。

#### 5. 総合評価

「非価格要素審査における点数化方法」で得られた非価格要素評価点と「価格審査における点数化方法」で得られた価格評価点を用いて、次に示す算定式により、各入札参加者の総合評価点を算定する。

<b>【総合評価点の算定式】</b>
総合評価点 = 非価格要素評価点 + 価格評価点

#### 6. 落札候補者の選定

技術審査会は、総合評価点が最も高い入札参加者を落札候補者として選定する。

7. 落札候補者の選定経過

日 程	内 容
平成 26 年 3 月 24 日 (月)	第 1 回技術審査会
平成 26 年 5 月 2 日 (金)	第 2 回技術審査会
平成 26 年 6 月 10 日 (火)	第 3 回技術審査会
平成 26 年 7 月 18 日 (金)	入札公告、募集要項の公表
平成 26 年 7 月 29 日 (火)	募集要項に対する質問 (第 1 回) の提出期限
平成 26 年 8 月 5 日 (火)	募集要項に対する質問 (第 1 回) への回答
平成 26 年 8 月 19 日 (火)	入札参加資格審査申請書の提出期限
平成 26 年 8 月 29 日 (金)	入札参加資格審査結果の通知
平成 26 年 9 月 19 日 (金)	募集要項に対する質問 (第 2 回) の提出期限
平成 26 年 10 月 2 日 (木)	対面的対話 (第 2 回質問への回答を兼ねる) (第 4 回技術審査会)
平成 26 年 11 月 7 日 (金)	技術提案書類・入札書等の提出期限
平成 26 年 12 月 22 日 (月)	第 5 回技術審査会 (技術提案に係るヒアリング、非価格要素審査)
平成 27 年 1 月 15 日 (木)	入札書の開札
平成 27 年 1 月 27 日 (火)	第 6 回技術審査会 (総合評価、審査講評)



### Ⅲ. 審査結果

#### 1. 入札参加資格の審査

2者から入札参加資格の審査申請があり、草津市にて入札参加資格審査を実施した結果、2者ともに入札参加資格要件を満たしていることを確認した。

入札参加者名については「緑」、「青」とした。

#### 2. 対面的対話

資格審査に合格した入札参加者「緑」、「青」に対して、対面的対話を実施した。

#### 3. 基礎審査

入札参加者「緑」、「青」から技術提案書類及び入札書類が提出され、失格要件に該当しないことを確認した。なお、事前審査は草津市において実施した。

#### 4. 技術提案に係るヒアリング

技術審査会で技術提案を審査するため、入札参加者「緑」、「青」による技術提案のプレゼンテーションを実施した。その後、技術審査会から入札参加者「緑」、「青」へヒアリングを行った。

#### 5. 技術提案の審査

技術提案書類に対する質問回答、プレゼンテーション内容、ヒアリング内容等を踏まえ、技術提案の審査を行った。

技術審査会では、落札候補者選定基準書に従い各委員が個々に評価を行い、その結果を集計して平均点を算出し、得点とした。技術提案の審査結果（非価格要素評価点）は次のとおりである。

非価格要素審査表（採点表）

評価項目		配点	緑	青	
<b>非価格要素審査</b>					
安全で安定した施設	安全・安定処理できるプラント設計	【第3-5号様式】 ・焼却性能 ・建築物構造計画 ・安全性等への取り組み	2	1.125	1.500
	安全な施設配置・車両動線計画	【第3-6号様式】 ・敷地内の車両動線 ・市民の車両動線（混載時の車両動線）	2	1.000	1.125
		【第3-7号様式】 ・施設内の車両動線 ・メンテナンス車両の動線	2	1.125	1.125
		【第3-8号様式】 ・既存プラスチック、ペットボトル施設の将来配置計画と車両動線計画	2	1.125	1.125
	安定稼働（運転）の実現	【第3-9号様式】 ・ごみ量、ごみ質への変動への対応	2	1.000	1.625
【第3-10号様式】 ・トラブル、事故発生防止対策 ・トラブル、事故発生時の対応 ・災害時の運転（ごみ処理）		2	1.125	1.500	
環境に配慮した施設	環境保全性能	【第3-11号様式】 ・公害防止基準及び遵守方策	2	1.125	1.375
	循環型社会の構築に貢献する施設	【第3-12号様式】 ・自然エネルギー導入計画	2	1.125	1.125
		【第3-13号様式】 ・省エネルギー設備導入計画	2	1.125	1.250
	環境を大切にすることを育む施設	【第3-14号様式】 ・周辺の森林等と調和をした景観デザイン ・森をイメージした緑化、植栽計画	2	1.375	1.000
		【第3-15号様式】 ・敷地や施設を活用した学習機能の整備	2	1.125	1.125
身近に感じられる施設	【第3-16号様式】 ・見学者コース、市民活動スペースとその活用法、啓発設備の設置と更新	2	1.000	1.375	
経済性・効率性を考慮した施設	エネルギーの有効利用	【第3-17号様式】 ・年間発電計画および売電計画	2	1.375	1.375
		【第3-18号様式】 ・契約電力低減の工夫	2	1.125	1.375
	長寿命化の実現・効率的な施設運営	【第3-19号様式】 ・維持管理費低減の工夫	4	2.000	2.750
		【第3-20号様式】 ・定期補修費低減の工夫	4	1.750	2.750
		【第3-21号様式】 ・運転人員削減の工夫	2	0.875	1.125
		【第3-22号様式】 ・過熱器の耐用年数とその実現対策	2	1.000	1.625
		【第3-23号様式】 ・大規模補修時の補修計画（大規模補修時期、大型重機設置等）	2	1.125	1.125
		【第3-24号様式】 ・建築機械設備の補修計画	2	1.125	1.125
【第3-25号様式】 地域貢献（地元企業の活用、地元住民への配慮）	2	1.125	1.500		
【第3-26号様式】 社会貢献（男女共同参画の推進、環境保全活動）	2	1.000	1.000		
【第3-27号様式】 その他有効な提案	2	1.000	1.250		
<b>合 計</b>		50	26.875	32.250	

## 6. 価格審査

非価格要素の評価を行った後、価格審査を行った。

価格審査に先立ち、入札参加者「緑」、「青」の立会いのもと、開札を行った。

開札時には入札価格が予定価格の範囲内であることに加え、入札説明書に記載した失格要件に該当しないことを確認した。

開札後、落札候補者選定基準に従い、入札価格について点数化を行った。

入札参加者	配点	入札価格（円）（消費税抜き）	価格評価点
緑	50点	9,935,000,000円	50.000点
青	50点	9,996,000,000円	49.694点

## 7. 総合評価及び落札候補者の選定

非価格要素評価点と価格評価点とを加算して、次のとおり総合評価点を算出した。

結果、技術審査会を開催し、入札参加者「青」（川崎重工業株式会社）を落札候補者として選定した。

入札参加者	非価格要素評価点 ①	価格評価点 ②	総合評価点 ①+②
「緑」 タクマ・西松特定建設工事 共同企業体	26.875点	50.000点	76.875点
「青」 川崎重工業株式会社	32.250点	49.694点	81.944点

#### IV. 審査講評

技術審査会は、落札候補者選定基準書に基づき、技術提案に係るヒアリング内容等を踏まえて技術提案書を審査した。

価格審査結果を併せた総合評価の審査結果を審査講評として次に示す。

まず、非価格要素について、入札参加者「緑」（タクマ・西松特定建設工事共同企業体）と入札参加者「青」（川崎重工業株式会社）の提案は、共に、多くの実績と豊富な経験に基づく実現性の高いもので、最新技術の導入提案もあり、草津市が本施設の基本方針として掲げる「安全で安定した施設」「経済性・効率性を考慮した施設」「環境に配慮した施設」の3本の柱を十分に実現させることが可能であると判断されるものであった。その中で、入札参加者「青」（川崎重工業株式会社）の提案は、全23評価項目のうち14項目において、より高い評価を得た。

次に、価格要素については、入札参加者「緑」（タクマ・西松特定建設工事共同企業体）が、わずかに勝っていた。

以上のことから、非価格要素評価点と価格評価点とを加算して総合評価点を算出した結果、より高い評価を得た入札参加者「青」（川崎重工業株式会社）を落札候補者として選定する。

最後になるが、本工事を通じて、草津市と落札候補者が良きパートナーとなり、地元も含めた信頼関係の中で、本施設が草津市の循環型社会の構築・推進に寄与する施設となることを希望する。

また、本施設においては、「安全で安定した施設」「経済性・効率性を考慮した施設」「環境に配慮した施設」の3本の柱を実現するとともに、エネルギーの創出、環境学習、人材育成といった面でも優れた効果を発揮することを期待する。